

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体の吊込み後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あることを確認してください。本体と枠の間に、すき間が生じたり、本体が枠から外れやすくなりケガや故障の原因になります。
- 可動障子を取付ける際は、取外したときと同じ向きに取付けてください。向きを間違えますと脱落などにより、ケガや故障の原因となります。

■取付け上のお願い

- 本製品の「デュオ・シンフォニー・ASシリーズ用」はアングル付半外付サッシ(関東間)の大壁仕様、「サーモス用」はサーモスサッシに対応しています。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎるとねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・取付けには、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付けるときは、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」又は、ノンホルムタイプを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。かい木は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 本体は障子紙が張ってあるため、工事中は梱包状態のまま、室内の安全な場所に保管してください。
- 紙の張替えの際、格子の糊残りをヘラ・カッターなどで削り落とすと、格子を傷めますので使わないでください。
- 糊は市販の澱粉糊又は、有償部品「張替え用のり」以外は、使用しないでください。表面の樹脂シートを傷めます。
- 障子紙はアイロンで張るタイプは使用しないでください。表面の樹脂シートが溶けるおそれがあります。
- 建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

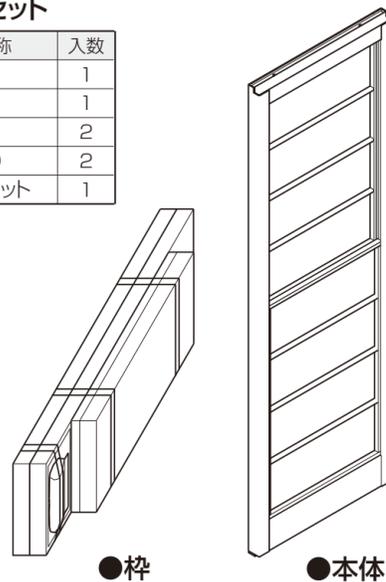
※枠はノックダウン、本体は完成品。

■ねじセット

対応機種	対応機種呼称	組立て用皿小ねじ M4×50 (入数)	取付け用ねじ DN65φ3.8×65 (入数)
デュオ・シンフォニー・ASシリーズ用	03609.03611 06009.06011	8本	14本
サーモス用	03309.03311 05709.05711		

■枠セット

名称	入数
鴨居	1
敷居	1
縦枠	2
戸当り	2
ねじセット	1



■壁厚に対応する枠幅の使い分け

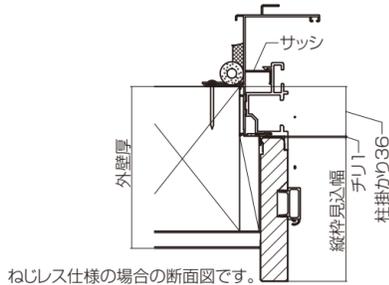
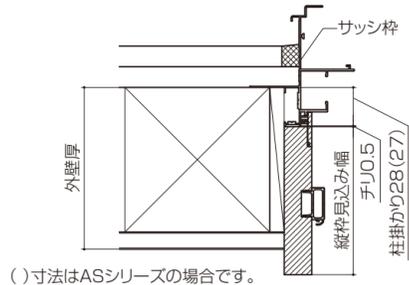
■対応可能壁厚一覧表

※柱掛かり28mmデュオ用 (柱掛かり27mmASシリーズ兼用) (在来用) (単位:mm)

柱	105mm角			120mm角		
	鴨居	縦枠	戸当り	鴨居	縦枠	戸当り
鴨居	-	12	15	-	12	15
ボード	9.5	12.5	9.5	9.5	9.5	12.5
外壁厚	114.5	117.5	126.5	129.5	129.5	141.5
縦枠見込み幅	107.5	107.5	119.5	119.5	119.5	131.5

●柱掛かり36mmサーモス用 (単位:mm)

柱	105mm角			120mm角		
	鴨居	縦枠	戸当り	鴨居	縦枠	戸当り
鴨居	-	12	15	-	12	15
ボード	9.5	12.5	9.5	9.5	9.5	12.5
外壁厚	114.5	117.5	126.5	129.5	129.5	141.5
豊寄せ幅	27	24	15	12	12	18
縦枠見込み幅	104.5			122.5		

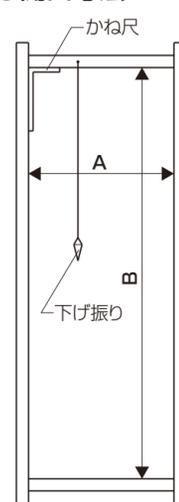


■開口部の作り方

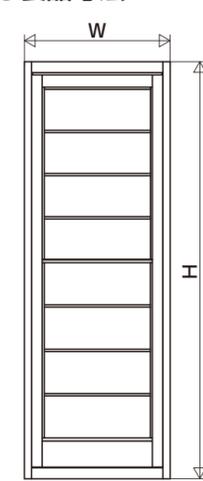
■開口寸法の出し方

開口A寸法=製品寸法(W)+5mm
開口B寸法=製品寸法(H)+5mm
※開口部の水平・垂直を正しく出して

●開口寸法



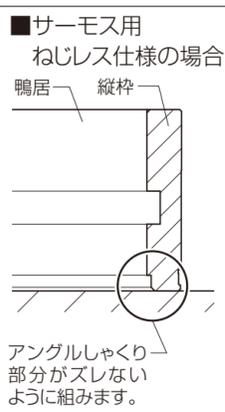
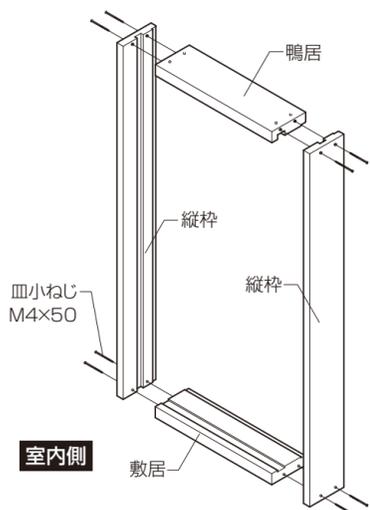
●製品寸法



■取付け順序

1 枠の組立て

●図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。



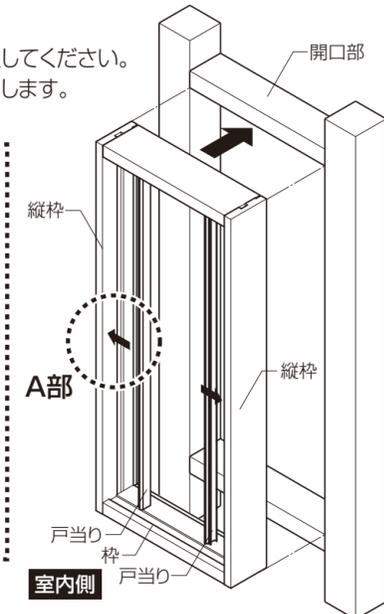
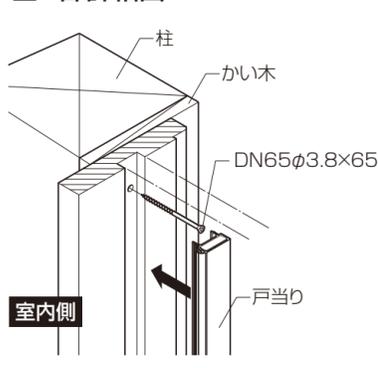
2 枠の取付け

- ①サーモス用ねじレス仕様の場合はサッシアングルと受けフィンの中に鴨居、敷居、縦枠を挿入してください。
- ②開口部と縦枠、鴨居の間にかい木を入れて取付けます。取付けにはDN65φ3.8×65を使用します。縦枠はねじで固定後、戸当りで取付け溝をふさぎます。

■サッシに横引きロール網戸を取付ける場合

- ①サッシを開口部に取付ける。
- ②障子枠(戸当りは取付いていない状態)を取付ける。
※戸当りを取付けた状態で障子枠を取付けると、横引きロール網戸が取付きません。
- ③横引きロール網戸をサッシに取付ける。
- ④障子枠に戸当りを取付ける。
※障子枠を取付ける前に横引きロール網戸が取付いている場合は、横引きロール網戸を外してください。アングル固定ビス穴が隠れてしまい障子枠が取付けられません。

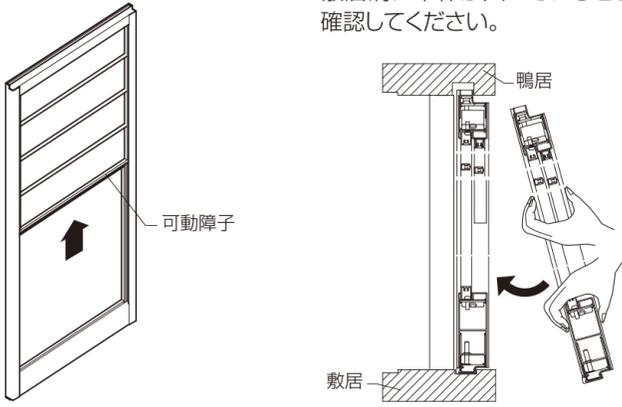
■A部詳細図



3 本体の取付け

①可動障子を開けます。
※一番上まで可動障子を上げた状態で作業してください。

②中棧・下棧を持ち、本体上部戸首を鴨居溝にはめ込み、その後、敷居溝に本体を入れてください。
※敷居溝に本体が入っていることを確認してください。

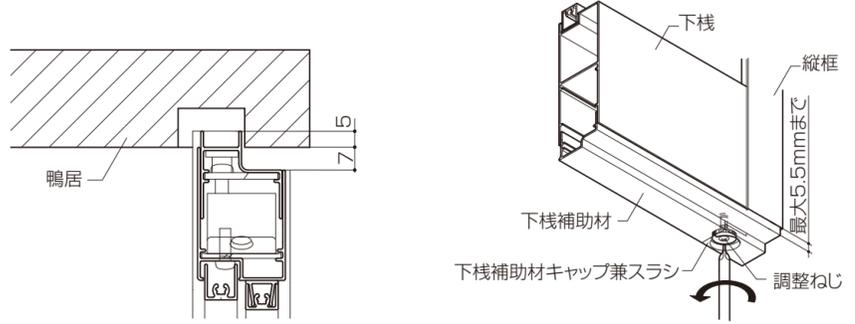


■本体の建付け調整

本体の鴨居へのかかりが5mm未満のときは必ず建付け調整を行ってください。
●本体の下棧には、上下の建付け調整機能が付いています。調整量は+5.5mm、-0mmです。
●本体を枠から外して下棧の底の調整ねじをプラスドライバーで左に回します。

▲注意

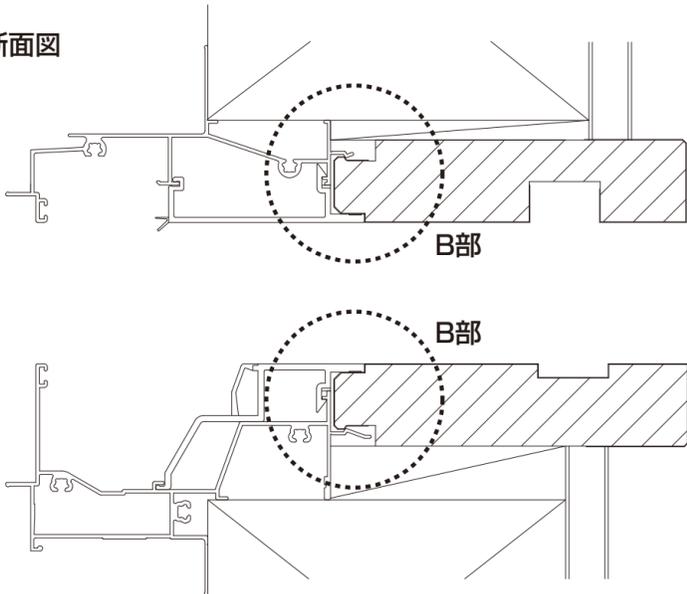
●本体吊込み後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上であることを確認してください。



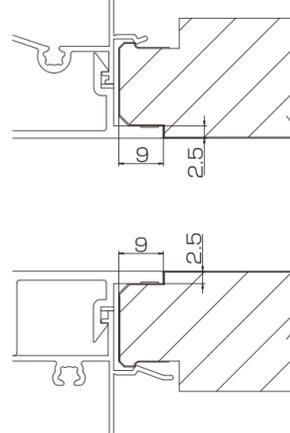
■ねじレス仕様とねじ付仕様の違い

ねじレス仕様とねじ付仕様では、鴨居・敷居・縦枠のアングルしゃくり部の寸法が違います。その他仕様は全て同じです。

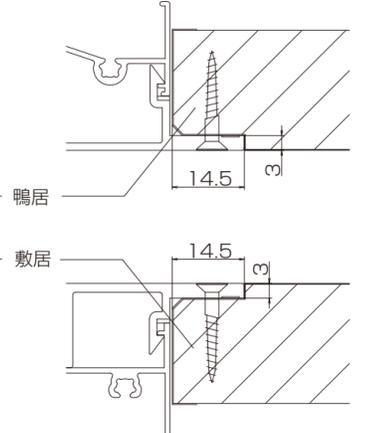
■縦断面図



■B部詳細図 ねじレス仕様



■ねじ付仕様

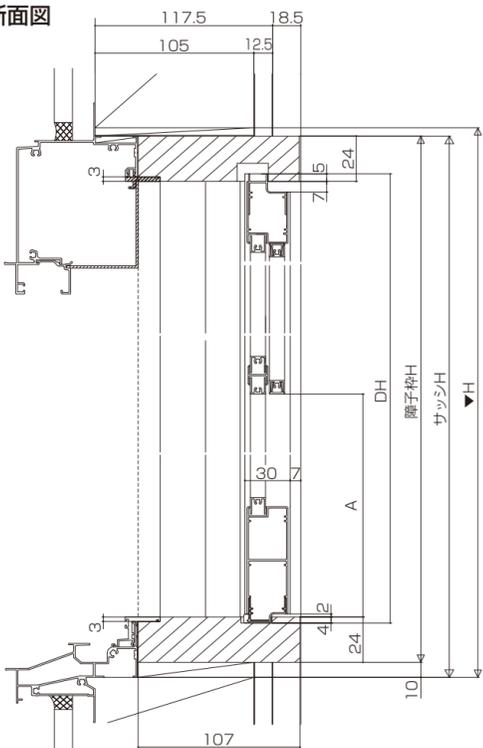


縦枠においてもアングルしゃくり部の寸法は同様の違いになります。

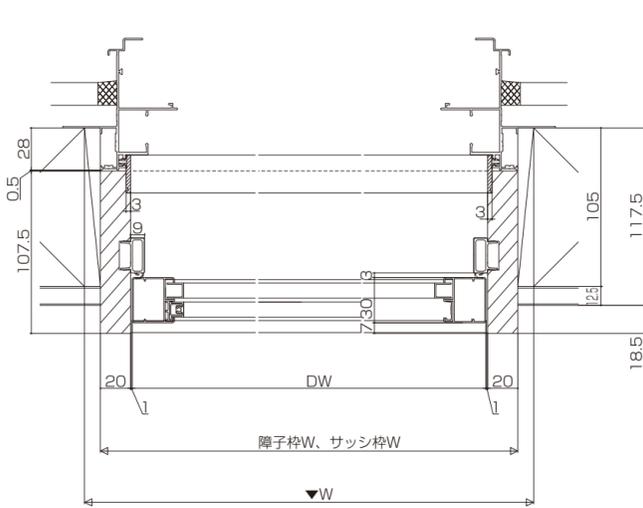
■納まり図

■デュオ・シンフォニー・ASシリーズ用

●縦断面図



●横断面図

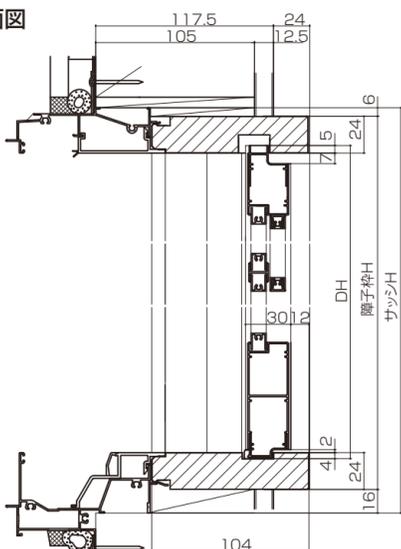


●製品寸法表〔在来用〕(単位:mm)

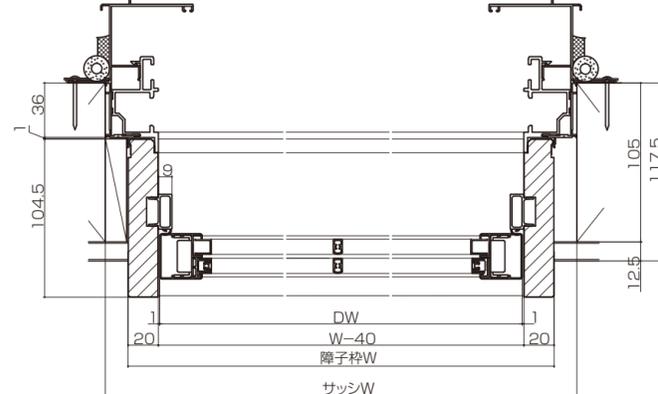
呼称	W	H
03609	405	948
03611	405	1148
06009	640	948
06011	640	1148

■サーモス用(ねじレス仕様の場合)

●縦断面図



●横断面図



●製品寸法表〔在来用〕(単位:mm)

呼称	W	H
03309	375	948
03311	375	1148
05709	610	948
05711	610	1148